



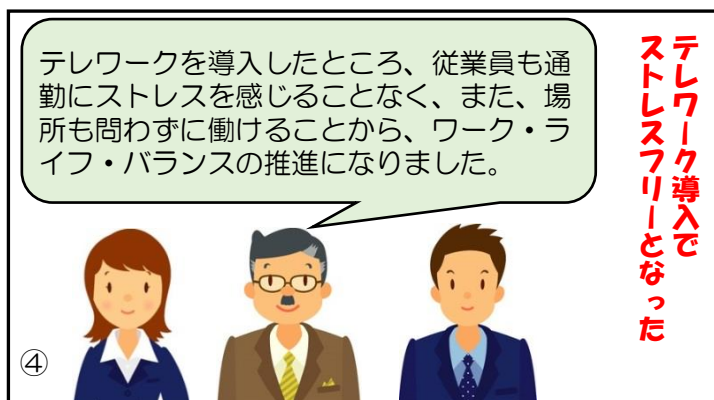
# 愛知労働局

## 働き方改革応援レシピ ～テレワーク編～

- 1 通勤ストレス解消
- 2 遠隔地からの求人獲得
- 3 育児と仕事の両立
- 4 テレワークで治療と仕事の両立！
- 5 在宅勤務におけるプライバシー保護
- 6 どこでも内線がとれるんです！
- 7 收音システムで周りの雑音も気にならない
- 8 午後からは在宅勤務をしてみても
- 9 コロナ対策としてテレワークを導入
- 10 製造業でもテレワーク!?



◇：ICT（モバイル機器等の情報通信技術）を活用した、場所や時間にとらわれない柔軟な働き方



## 取組事例紹介

業種：情報通信業 従業員数：70名

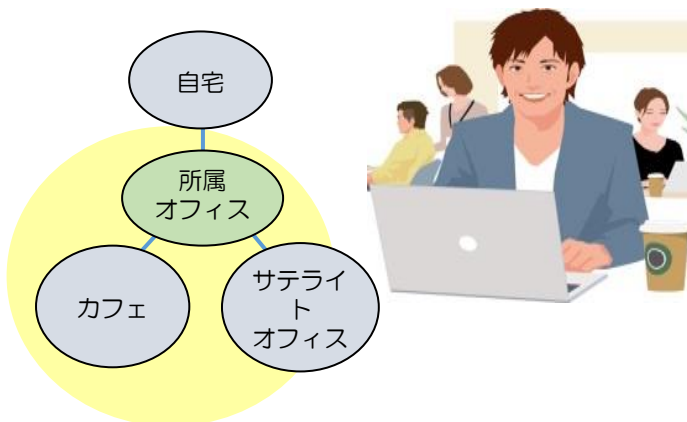
従業員の通勤によるストレスを緩和させるとともに、ワーク・ライフ・バランスを推進するため、テレワーク（在宅勤務制度）導入に取り組んだ。

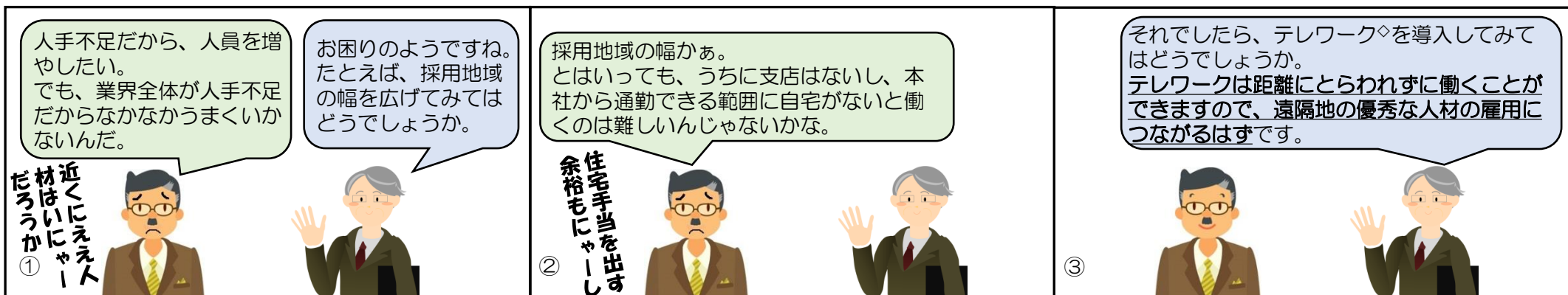
### <テレワークの導入>

テレワーク勤務希望者にモバイル機器を貸与し、そのモバイル機器で自宅（または自宅以外で従業員が希望し、会社が承認した場所）での勤務を可能とした。

注：テレワークを行う労働者にも、労働基準法等の労働関係法令が適用されますので、導入には労働時間の把握方法等の各種取扱いの整備が求められます。

- ・通勤時間がなくなったことで従業員は通勤のストレスがなくなり、業務にも集中して取り組めるようになったことから、生産性が向上した。
- ・テレワークは育児や介護と仕事の両立の一助になり、ワーク・ライフ・バランスが推進された。





① 近くに人材はいないか  
② 住宅手当を出す余裕も出るかしら

◇：ICT（モバイル機器等の情報通信技術）を活用した、場所や時間にとらわれない柔軟な働き方

## 取組事例紹介

業種：卸売業 従業員数：60名

人手不足の解消には、企業の通勤圏内に居住する者だけではなく、その地域を越え、幅広く採用活動を展開していく必要があると考え、テレワーク（在宅勤務制度）導入に取り組んだ。

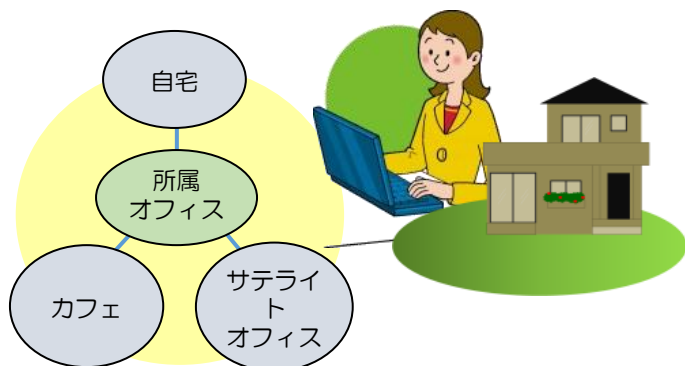
### <テレワークの導入>

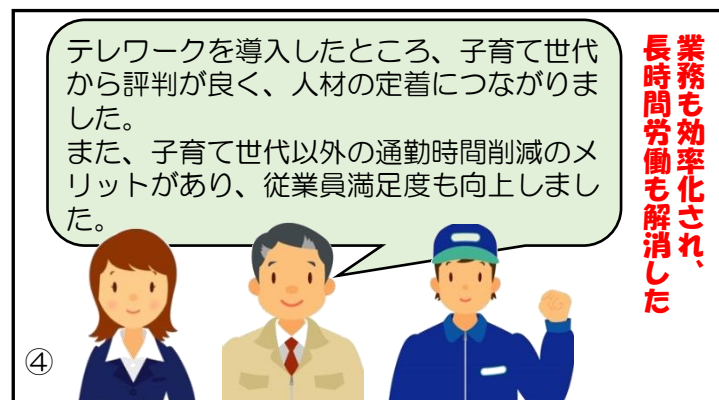
テレワーク勤務希望者にモバイル機器を貸与し、そのモバイル機器で自宅（または自宅以外で従業員が希望し、会社が承認した場所）での勤務を可能とした。

注：テレワークを行う労働者にも、労働基準法等の労働関係法令が適用されますので、導入には労働時間の把握方法等の各種取扱いの整備が求められます。

- ・採用地域の幅が広がったことで、今までは応募がなかった地域からも求人応募がなされ、人手不足解消につながった。
- ・テレワークは育児や介護と仕事の両立の一助になり、ワーク・ライフ・バランスが推進された。

テレワークにより、ワーク・ライフ・バランスも推進された





◇：ICT（モバイル機器等の情報通信技術）を活用した、場所や時間にとらわれない柔軟な働き方

## 取組事例紹介

業種：製造業 従業員数：91名

育児休業をしていた従業員が子育てが大変なことを理由に復帰せずに退職したことをきっかけに、テレワーク（在宅勤務制度）を導入し、育児及び介護と仕事の両立支援に取り組んだ。

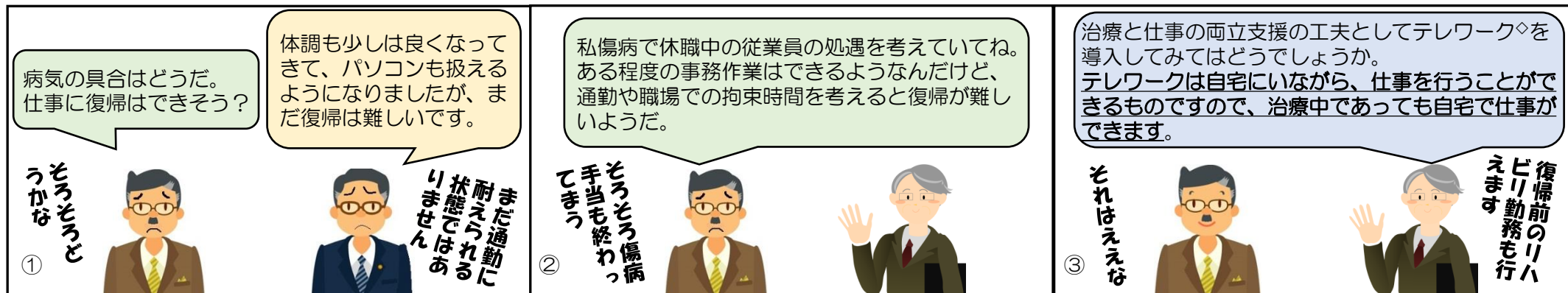
### <テレワークの導入>

テレワーク勤務希望者にモバイル機器を貸与し、そのモバイル機器で自宅（または自宅以外で従業員が希望し、会社が承認した場所）での勤務を可能とした。

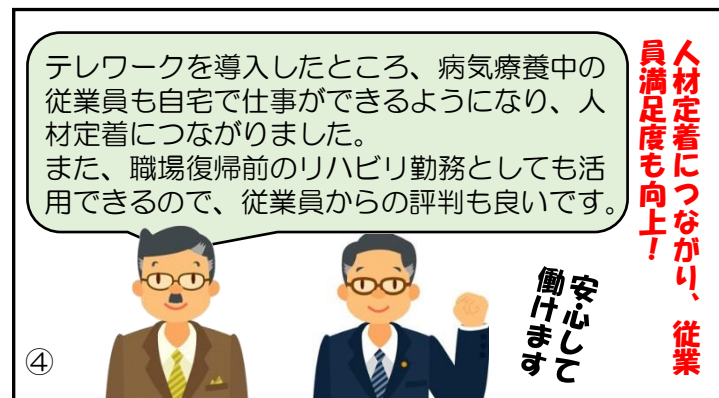
注：テレワークを行う労働者にも、労働基準法等の労働関係法令が適用されますので、導入には労働時間の把握方法等の各種取扱いの整備が求められます。

- ・テレワークは育児や介護と仕事の両立の一助になり、人材定着につながった。
- ・そのほかの従業員についても、テレワークを活用したことによりワーク・ライフ・バランスが推進された。





◇：ICT（モバイル機器等の情報通信技術）を活用した、場所や時間にとられない柔軟な働き方



## 取組事例紹介

業種：製造業 従業員数：47名

病気が原因で通勤が困難な従業員の雇用の安定を図るとともに、復帰前のリハビリ勤務として活用するため、テレワーク（在宅勤務制度）導入に取り組んだ。

### <テレワークの導入>

テレワーク勤務希望者にモバイル機器を貸与し、そのモバイル機器で自宅（または自宅以外で従業員が希望し、会社が承認した場所）での勤務を可能とした。

注：テレワークを行う労働者にも、労働基準法等の労働関係法令が適用されますので、導入には労働時間の把握方法等の各種取扱いの整備が求められます。

- ・テレワーク導入により、病気療養中の従業員も勤務を継続することができた。
- ・当該制度導入と併せ、治療と仕事の両立支援のための病気休暇・休職制度を新設したことで、療養中の従業員が復帰前にテレワークや休暇制度を利用でき、円滑な職場復帰につながった。



治療と仕事の両立支援  
イメージキャラクター  
：「ちりょうさ」



テレワークを導入し、在宅勤務を推奨しているのですが、従業員が積極的に利用してくれないんです。

利用されない理由はどういったものでしょうか。

みんな利用すると思っただけなのに

①

テレワーク中の報告や会議の際には、お互いの顔を合わせながら行うことが良いと思っていますので、Webカメラを採用しているんです。ですが、従業員は家の中などのプライベートな空間を見られるのが嫌みたいで……。

声だけ聞いていようよ

②

最新のWebカメラでは、AIによる人物検出を活用した背景ぼかし機能も備わった製品もありますよ。背景ぼかし機能を利用して、個人のプライバシーの保護と不要な情報の映り込みを遮断してみたいかがでしょうか。

背景ぼかしは情報漏洩の防止にもつながります

③

Webカメラにぼかし機能があるものを導入したところ、従業員からも評判で、テレワークの利用率も向上しました。

WEB会議前の部屋の片づけが必要になりました

テレワーク利用により、従業員満足度も向上!

④



AR背景ぼかし

背景をぼかすことによって、プライバシーの保護や情報漏洩の防止に!!

## 取組事例紹介

業種：製造業 従業員数：130名

テレワークを導入したいが、Web会議時における自宅や出先でのプライベート空間の確保やプライバシー保護の観点から導入が思うように進んでいなかった。

### <Web会議用の背景ぼかし機能付きのカメラを活用したテレワークの導入>

- AI人物検出機能  
⇒Web映像から参加している人物の輪郭を自動的に判断する。
- AR（拡張現実）背景ぼかし機能  
⇒特定した人物以外の背景にリアルタイムで「ぼかし」を適用する。

- 背景ぼかし機能付きのWebカメラにより、テレワークに消極的だった従業員も率先してテレワークを利用するようになった。
- テレワークは育児や介護と仕事の両立の一助になり、ワーク・ライフ・バランスが推進された。

①

テレワークを導入したんだけど、取引先との連絡のやり取りで一つ問題が生じてね。

問題とはどのようなものでしょうか。

制度自体は非常に評判が良かったんだけど

②

問題なのは主に営業職のテレワーク勤務なんだ。仕事上、どうしても取引先から会社にお問い合わせがあったりするんだけど、当然、社内にはいないから、その電話を切って、テレワーク勤務中の担当営業から後で折り返しをさせているんだ。勤務時間中なのにすぐに取り次げないのはちょっとなあ。

なんとか取り次げないだろうか

③

それでしたら、スマートフォンを内線端末として利用できるシステムを導入してはどうでしょうか。そのシステムにより、仮に取引先から会社にお問い合わせがあっても、外出中の従業員のスマートフォンに内線番号で転送できますので、テレワーク中の電話取次が実現しますよ！

それはすごい！

④

内線機能とスマートフォンの連携システムを導入したところ、いつも使っている内線番号で社内、社外とのやり取りが可能となり、オフィスと変わらない環境で業務が行えるようになりました。テレワーク利用促進につながり、従業員満足度も向上しています。

テレワーク利用促進により、ワークライフバランス推進！

## 取組事例紹介

業種：卸売業 従業員数：70名

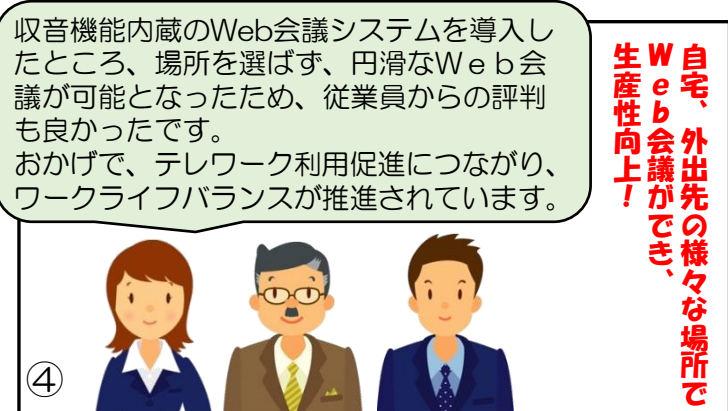
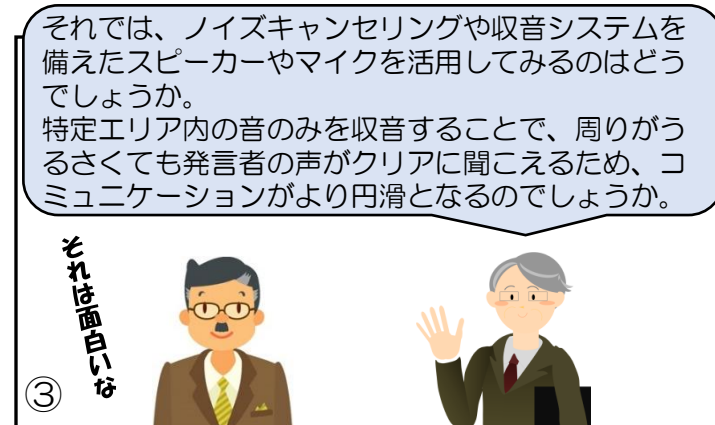
テレワークを導入したいが、テレワーク勤務を営業職に導入した場合、取引先からの問い合わせが会社になされても、担当営業職に電話を直接取り次ぐことができないため、機動力に欠けることが問題となっていた。

<内線機能とスマートフォンの連携システムによるテレワークの導入>

- 取引先から会社への電話を外出中の従業員に転送可能。
- 内線番号だけでオフィスと外出先・自宅のやり取りが可能。
- スマートフォンから取引先等に電話を行う場合であっても、システムを経由することで、会社の代表電話からの電話とすることが可能。

- ・内線電話の利用範囲が拡大されたことで、外出先からでも取次不要でタイムリーにコミュニケーションが取れるので、モバイルワークを促進、在宅勤務の利便性も向上し、テレワーク利用促進につながった。
- ・テレワークは育児や介護と仕事の両立の一助になり、ワーク・ライフ・バランスが推進された。





自宅、外出先の様々な場所でWeb会議ができ、生産性向上!



收音機能により周りの雑音抑制！  
会議に集中できる！

## 取組事例紹介

業種：情報システム業 従業員数：80名

将来のテレワークのため、Web会議をテスト実施したが、一部の従業員から「相手のマイクが周りの雑音を拾い、集中できない。エコーやハウリングが多くて相手と会話ができない。」といった不満がでており、テレワーク導入が進まなかった。

- <收音機能内蔵のWeb会議システムを活用したテレワークの導入>
- 收音機能
    - ・目的エリアの外で複数人が会話をしている場合、エリア内にいる人の声だけを收音する。
  - エコーキャンセラー
    - ・エコーやハウリングなどの障害を信号処理により抑制する。

- ・收音機能内蔵のWeb会議システムにより、従業員は場所を選ばず、Web会議ができるようになり、テレワーク利用者増加となった。
- ・テレワークの利用機会が増加したことで従業員のワーク・ライフ・バランスが推進した。



子育てで短時間勤務しているドクターがいるんだけど、お子さんが小学校にあがったら、学童保育の終わる時間が早くて仕事と家庭の両立が難しいんだ。短時間勤務の期間を延長しないといけないのかなあ。

それでしたら、例えば、午後からの勤務だけをテレワーク（注）にしてみるというのはどうでしょうか。

テレワーク！？聞いたことはあるけど、うちなんかの病院で導入できるの？特に医師だと、患者に対して、問診や触診をしなければならないから、テレワークという考え自体が馴染まないんじゃないかと思うけど。それに午前は病院、午後は自宅なんて勤務なんてできるものなの？

いえいえ。医師の仕事だって、カルテやレントゲン写真のチェック・整理などは患者がいなくてもできるのでテレワークに向いています。勤務時間の一部のみをテレワークとする制度をしっかりと作れば可能です。



① うちとしてはフルタイムに戻ってもいい

在宅勤務というものでいいかな



② そんなの無理に決まってるよ



③ 確かになあ

仕事の棚卸しがテレワークへの第一歩です

改めて医師の業務の棚卸しをしたところ、診察医の見落としがないかチェックするレントゲン写真の再確認や検査レポート作成等、テレワークに適した業務があることが分かり、また、テレワークの対象者・対象時間を限定的にすることで、病院の運営に支障をきたさない範囲で行えることが分かりました。うちにはテレワークは関係ないと思っていましたが、意外と使える制度です。



④

考え方もテレワークも導入可能です！

## 取組事例紹介

業種：病院 従業員数：70名

子育てのための短時間勤務は法を上回る小学校就学まで利用できる制度があるが、小学生の学童保育の終了時間が、保育園の延長保育よりも早く、短時間勤務の延長を希望する声があった。病院としては早くフルタイム勤務に戻ってほしいので期間の延長には積極的でないが、子育てと仕事の両立が困難になった結果、離職につながるおそれも生じていた。

<勤務医に対する午後限定のテレワーク制度導入>

○午前中は病院で診察を行い、午後から在宅勤務を行う。

（勤務医の在宅勤務の業務内容例）

- ・病院で撮影したレントゲン写真をテレワーク勤務者に送信し、診察医の判断誤り、漏れ等がないか、確認（ダブルチェック）する。
- ・利用患者の病歴サマリデータ作成や検査レポート作成等の医療業務支援を行う。

- ・テレワーク制度を導入したことで、様々な事情により、病院での勤務が難しい従業員がいた場合に、その事情と仕事の両立ができるようになり、離職防止につながった。
- ・レントゲン写真のチェックなど、通常業務のフォローをしてもらえることで、現場医師からの評判もよいものであった。



午後からは子どもを迎えにいき、自宅でレントゲン写真のダブルチェックをもらう

～満員電車を回避する工夫 その1～

① 通勤電車が満員状態で、コロナ感染が怖いです。子供にうつるのが怖いのでしばらく休職させてもらえませんか？

君以外に事務処理できる人がいないんだから、休まれたら困るよ！

車は夫が通勤で使ってるし

子どもが心配された

② 休職させてもらえないなら、退職すると言われて困ってるんだ。

コロナの影響がどれだけ続くか、分かりませんし、何か対策できないか検討してみましょう！

休職させる以外にも良い方法があります

③ テレワーク（注1）はご存知ですか。通勤や職場での3つの密（注2）を回避できますし、テレワークを導入してみてもどうでしょうか。

導入してみようかな

④ コロナ対策として、テレワークを導入しましたが、通勤ストレスがなくなるなど、従業員から好評で、場所も問わずに働けることから、ワーク・ライフ・バランスの推進になり、今後も継続していくことにしました。

通勤時間を減らすことで、育児や介護との両立の助けにもなりました

注1：ICT（モバイル機器等の情報通信技術）を活用した、場所や時間にとられない柔軟な働き方  
注2：①換気の悪い密閉空間、②多数が集まる密集場所、③間近で会話や発声をする密接場面の3つの条件を3つの密と言います。3つの条件がそろった場所では、コロナウイルスに集団感染するリスクが高くなります。

## 取組事例紹介

業種：情報通信業 従業員数：70名

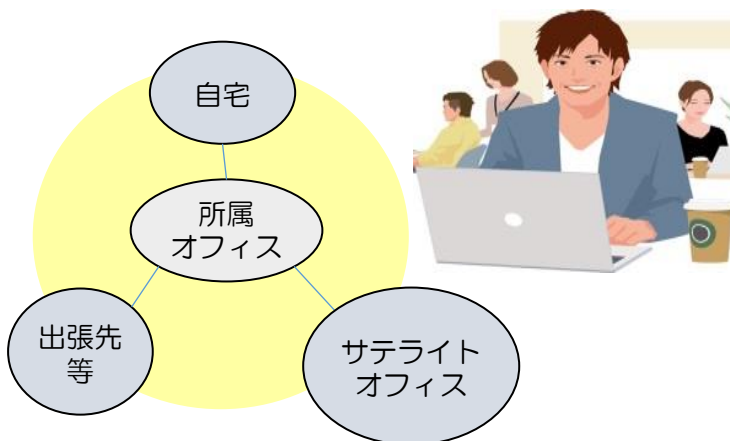
満員電車、事務所における3つの密回避のためにテレワークを導入した。

### <テレワークの導入>

テレワーク勤務希望者にモバイル機器を貸与し、そのモバイル機器で自宅や出張先等での勤務を可能とした。

※テレワークを行う労働者にも、労働基準法等の労働関係法令が適用されますので、導入には労働時間の把握方法等の各種取扱いの整備が求められます。

- ・テレワークを導入することにより、満員電車や事務所における3つの密を回避することができた。
- ・テレワークは育児や介護と仕事の両立の一助になり、ワーク・ライフ・バランスが推進された。



①

世間では、テレワークの導入が進んでいるって聞くけど、うちは製造業だから、導入は無理だな。

そんなことは、ありません。製造業でも導入している会社はありますよ。

②

物理的に作らないといけないものは、デジタル化とかできないし、さすがに製造業でリモートワークは無理だと思うけど。

無理にやるとなると

③

確かに、直接製造にかかわる部分は、リモートワーク化することは難しいですが、それ以外で可能な業務はたくさんあります。例えば、総務・経理部門、営業部門、設計部門、さらに、管理部門も導入が可能です。

なるほど

わかる、リモートワークもできる業務はたくさんあるよ。

④

現場に行く必要がある業務でも、一部ではリモートワークが可能な業務もあります。例えば、スマートグラスを活用すれば、遠隔で現場管理・確認を行うことができます。可能な業務を切り分けて、無理なくテレワークの導入に取り組みしましょう。

従業員の意見のフォローアップも大事です

スマートグラスは、さまざまなセンサーや通信機能を持ちメガネをかける要領で装着して使用するウェアラブルデバイス。カメラと網膜投射型のディスプレイを搭載しており、実際の景色に重ねて表示できる。製造現場や建設現場の作業者目線の映像をリアルタイムでPCやタブレットに表示することができ、遠隔支援を行うことができる。

## 取組事例紹介

業種：製造業 従業員数：70名

リモートワークが可能な部門の検討を行い、テレワークに適した業務のガイドラインを定め、上司による許可制とした。また、テレワーク導入のための環境整備、セキュリティ対策を実施した。

### <リモートワーク化が可能な業務を切り分ける>

- テレワークが可能な部門を検討し、総務・経理部門、営業部門、設計部門及び管理部門で上司が審査する許可制とした。
- テレワークで効率的に進めることができる業務とできない業務のガイドラインを作成した。

### <従業員の意見とフォローアップ>

- 制度を拡充する前にトライアル期間を設け、トライアルを行った部門の従業員に対する調査の結果を基に、運用の見直しを含め制度改定を行った。

- 従業員の通勤に伴う時間的、身体的負担がなくなり、業務により集中して取り組めるようになったことから、生産性が向上した。
- テレワークは育児や介護と仕事の両立の一助になり、ワーク・ライフ・バランスが推進された。
- 労働意欲はあるが、現場での勤務が難しくなった豊富な業務ノウハウを持っている高齢者などの多様な人材確保につながった。

①

子育て中で時短勤務をしている従業員がいるんだけど、通勤時間が長いという理由で自宅近くの会社へ転職を考えているらしい。

それでしたら、例えば、テレワークを導入してみてもどうでしょうか。

なんと引き止めたが、どうしたものか

②

テレワークかぁ。名前はよく聞くし、通勤時間を削減するにはもってこいの制度だとは思うけど、私としては従業員の健康管理や労働時間の把握が心配だなぁ。毎日会社で従業員と顔を合わせて、その人の健康状態や勤務態度を確認することも事業主としての責任だ。

従業員の健康管理が心配なんです。

メールだけの報告だと顔色も分からない

③

従業員の健康管理や勤怠管理にWebカメラを導入してはいいでしょうか。最新のカメラ技術ではその映っている人の心拍数を計測し、その結果を従業員の健康管理に生かすことができるんです◇。このシステムであれば、テレワーク中でも映像で顔や勤務状況が把握できるし、従業員の健康状態も把握できるので、社長の不安も解消されるのではないのでしょうか。

今の技術は進んでいるよ

④

テレワークで顔を直接合わせなくても、健康管理が可能だとわかり、早速当社でもテレワークを導入してみました。テレワークのおかげで通勤に悩んでいた従業員も退職せずに済み、また、ほかの従業員からも評判のよい制度となりました。私としても従業員の様子や健康状態が分かり、安心です。

テレワークの導入により、従業員のワークライフバランスが推進した

テレワークのおかげで通勤ストレスからも解放

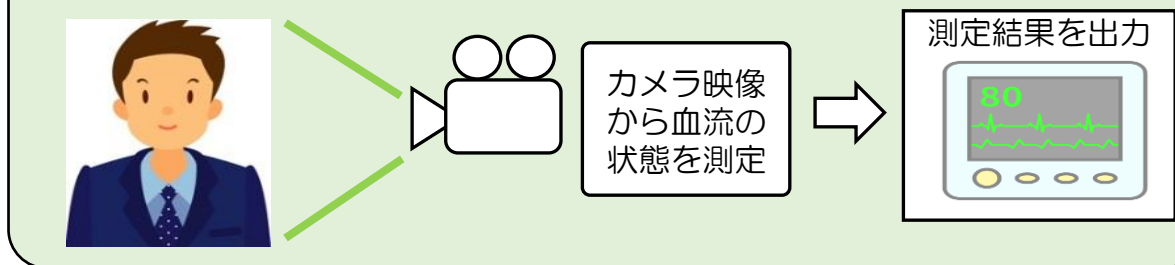
◇：映像脈波抽出技術。血管の収縮・拡張に伴う反射の度合いを画像解析することで、脈波信号を抽出し、心拍数を推定することができる技術。

## 取組事例紹介

業種：卸売業 従業員数：50名

企業内でテレワークを導入したいという要望はあったが、従業員の健康管理上の問題から、積極的に導入できないでいた。

### <映像脈波抽出技術を活用したテレワークの導入>



- ・テレワークを利用している従業員の健康状態を科学的に分析ができるため、直接顔を合わせなくても、従業員の不調等を早期に発見できるなど、従業員の健康管理が可能となった。
- ・テレワークの利用機会が増加したことで従業員のワーク・ライフ・バランスが推進した。

### 心拍数を知ると、こんなことが分かる！

#### 運動強度計算

心拍数から消費カロリー計算の基となる運動強度を知ることができる。

#### 心の状態推定

緊張したりすると心拍数は高まり、リラックスすれば落ち着く。

#### 体調の推定

発熱時や不調のときは、平常時より心拍数が高くなる。